

姫路の 星空

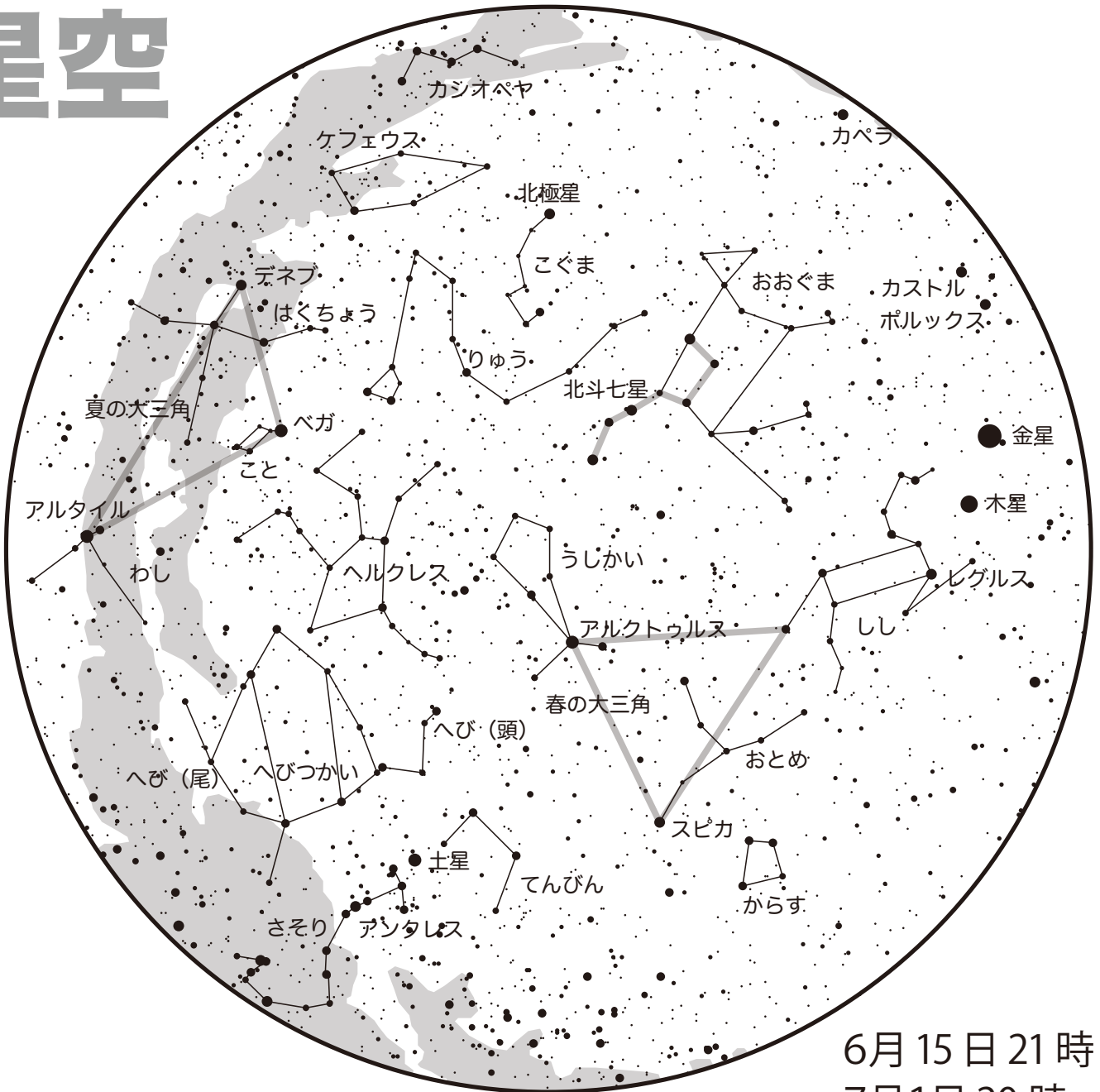


姫路科学館
Himeji City Science Museum

北

西

東



6月15日 21時
7月1日 20時

南

明るい惑星

西の空に金星と木星、南東の空に土星が目立ちます。金星と木星は7月1日にくっつきそうなくらい近づいて見えます。この前後に移動のようすを観察してみましょう。

春の星（西の空）

北斗七星が北の空に見え、北極星を探す目印にもなります。おおぐま座の腰としっぽの星たちです。おおぐま座のしっぽを伸ばした春の大曲線をたどると、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカが見つかります。南西の空高く、しし座も見えています。胸に輝く1等星はレグルスです。しし座のしっぽの星デネボラとアルクトゥルス、スピカを結ぶと春の大三角です。

夏の星（東の空）

南東にさそり座のアンタレス、東の空に夏の大三角が見えています。大三角を作るのは、こと座のベガ（織女星）、わし座のアルタイル（彦星）、そして、はくちょう座のデネブです。七夕の星たちが空高く上ると、夏の大三角に重なるように天の川が見えるようになります。かすかな光なので、街明かりや月明かりの邪魔のない空が澄んだ夜に、暗闇に十分目を慣らして探してみましょう。